

甲南Today

2012 Nov NO. 42

甲友のリレーションで、未来を紡ぐ

<特集2>

国際言語文化センター
iPadで外国語学習が
楽しく進化する！

いのち——その尊さ、重み
It's KONAN Style
SUMA HEART CLINIC 院長
須磨 久善 さん

なるほど！甲南アカデミア
経済学部 経済学科
石川 路子 准教授

<特集1>

甲南・平生精神を現代に——〔甲南平生塾〕
甲南教育の真髄とは？

<特集3>

〜東日本大震災被災地に捧ぐ〜
響け！鎮魂のメロディ
佐渡 裕とスーパーキッズ・オーケストラ
With 甲南大グリークラブ

甲南Today NO.42

2012年11月20日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341 (代)

ONLY ONE VOL.13
—個性を力へ—

「真の教育とは、人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の才能を引き出すことである」と提唱した、甲南学園創立者 平生鈆三郎。そんな平生の想いを込め、今、甲南学園の光り輝いている学生・生徒をご紹介します。

「絶頂を超え
る風少年。」

「ヨットを駆り、世界の風と一つになる。」

「一番のクルーにしたる」
親友のことばで、心に火がついた。

ヨットとの出会いは、高校1年生のとき。カヌー部に入るつもりだった尾崎玄弥さんだが、同級生の親友に「ヨット部の見学に行こう」と誘われたのがきっかけだった。生まれて初めてヨットに乗ったときの感動は、今も覚えている。「エンジンが付いてないのに動いている！すごいーめっちゃかっこいいー」。

「瞬にしてヨットに心を奪われた尾崎さんは、やる気満々でヨット部に入部。しかし、成績はまったく振るわなかった。2年生まではヨット部の中で一番下手だったかもしれない。そんなとき最初に誘ってくれた親友と

ヘアを組むことになったんです。すでにスキッパー※として実力を発揮していた親友は、尾崎さんにこう言っている。「玄弥を一番うまいクルーにしたる」。このことばが尾崎さんのやる気に火をつけた。高校2年生の1月、ごろから真剣に練習しました。すると数か月後、全国高等学校選抜ヨット選手権大会で初優勝することができました。

その後、近畿大会で優勝してインターハイの切符をつかみ、国体にも出場。それらの戦績とJOCジュニアオリンピックカップ2位という結果が認められ、日本ナショナルチーム代表の座も射止めた。

コーチも認める「絶頂」を超える力で
さらに上をめざす。



法学部 1年次
尾崎 玄弥 さん
世界選手権
大会出場！

幼いころからスポーツ万能で負けず嫌い。水泳、サッカー、テニス、バスケットボールなどに真剣に取り組んできた。そんな少年の憧れは、消防士。炎と格闘し人の命を救う勇敢な姿は、大学生になった今も心のヒーローだ。

そして今年7月、オーストラリアで開催された国際420級世界選手権大会で世界の若き強豪たちとの戦いを経験。残念ながら、結果は満足のいくものではなかったが、「何もかも僕たちとは違っていた。世界のレベルの高さを知りました」と、清々しく語ってくれた。

この世界選手権は、親友とヘアを組んで戦う最後のレースだった。それぞれが違う大学に進んだからだ。「甲南大学を選んだのはヨット部の雰囲気、自由で楽しそうだったから。僕は、一時的に管理されるのは苦手。甲南ヨット部の先輩たちは、オンとオフの切り替えがはつきりしていて自主性を重んじる。そんなクラブの気風に魅力を感じました」。

尾崎さんが得意とするのは、激しい風だ。「海が荒れたら気分がハイになります。アドレナリンが放出される感じだ」。最も力を発揮できるコンディションです。コーチにも「お前の長所は、絶頂を超えるところだ。伸び伸びしている」「て言われます。そのかわり苦手なのが順風（追い風）ですね笑。何もしくなくてもスムーズに進む順風で、どれだけ差をつけられるかが課題です」。

現在、甲南大で尾崎さんがヘアを組んでいる先輩は、何とあの親友のお姉さんだという。「実は、高校1年生のとき、初めてヨットに乗せてくれたのもそのお姉さんでした。親友と果せなかった夢をこのヘアで実現したいと思います」。ヨットには、メンタル面の強さも求められる。パニックになったり、緊張したりすれば、試合運びに大きく影響するのだ。「相手の状況をわかりやすいことばでほぐしたり、レース中は周りの状況をわかりやすく伝えたり……コミュニケーションが大切です」。そんな経験を重ねることで、ヨットを降りても他人の気持ちを思いやるようになった。そんな尾崎さんの目標は、「インカレ（全日本学生選手権）出場です。その先はまだわかりませんが、もちろんオリンピックもめざします」。



人懐っこい笑顔で、初対面の人にも自ら話しかけ、すぐに打ち解ける。海外選手とも友だちになった。

※ヨット競技では舵をとる者のこと。



Konan
mobile

インターネットで甲南へ <http://www.konan-u.ac.jp> 携帯電話で甲南へ



能楽ってムズカシイ!?
いえいえ、こんなに
魅力的なんです。

「入学するまでは、能にも、狂言
にも、興味はなかった!」その
能楽研究部のメンバーが日本一
に!彼らがとりこになった「能楽の
魅力」を語ります。

学生コンクールで
日本一!
文化会 能楽研究部



17



地域の人々とともに
みんなが幸せに暮らせる
まちをつくりたい。

人々が安心して暮らすための「まちづくり」をテーマとして研究に取り組む石川准教授。ゼミ生たちと一緒に、地域の子育てサークルと交流するエピソードから、学生の成長を願う石川准教授の温かさが垣間見えます。

15

経済学部 経済学科
石川 路子
准教授



iPadで外国語学習が
楽しく進化する!

国際言語文化センターの教職員たちが、「iPad」を用いた斬新な発想で新しい外国語教育のためのiCALL教室を完成させました。学生の学習効率化が図れるうえ、「楽しく学べる!」と、学生たちの学ぶ意欲を向上させているようです。

05

教育特集2

甲南大学の外国語の授業が、生まれ変わりました!
国際言語文化センター



甲南教育の
真髄とは?

本年5月、甲南大学で始まった「甲南平生塾」。そこで塾長を務める杉村芳美学長と、塾生第一期生の学生たちが座談会を行いました。塾生たちは甲南平生塾で何を学んでいるのでしょうか?

03

〈教育特集①〉
創立者 平生飢三郎先生の
精神をよみがえらせる
人物教育プログラムがスタート。

甲南・平生精神を現代に
〈甲南平生塾〉

23

新任・退任教職員紹介
新たに着任、退任した教職員からの
メッセージ。



フランス甲南学園
トゥレーヌだより



日仏の生徒が一体になった、感動いっぱいの最後の
体育祭をご紹介します。

21

高 中 TOPICS



4人が体験したこと、感じたことから、高校生ならではの留学の意義が伝わります。

僕らの留学。
今じゃなきやダメなんだ!

19

高校時代に留学すること
にこだわった生徒たち。
そのワケとは?

甲南 Today
from the editorial staff

No.42
2012
November

今号の見どころ

ひと回り大きく、A4サイズに生まれ変わった『甲南Today』。今号では、今、世界から注目を集めるお二人、心臓外科医・須磨久善さんと指揮者・佐渡裕さんに誌面を飾っていただきました。一層実りのある一冊に仕上がった『甲南Today』をお楽しみください。

◎平生日記

平生飢三郎と
漢字廃止論

大正時代、当時、急進的と評された「漢字廃止論」を支持した平生飢三郎の真意について、文学部 有村兼彬教授が言及します。

22

KONAN FORUM

25

実りの秋にふさわしく、体育会クラブから数々のすばらしい戦績が届いています。また、「公開講座」もお知らせしています。



ONLY ONE
個性をカヘー

裏表紙

ヨットに心を奪われて、
世界選手権大会に出場する
までに成長した「風少年」
を紹介します。



～東日本大震災被災地に捧ぐ～

本年8月、世界で活躍する指揮者・佐渡裕さんが、東日本大震災の被災地で鎮魂コンサートを開催されました。そのコンサートで、甲南大グリークラブの学生たちが共演させていただくという機会をいただきました!学生たちにとって、初めての被災地と、被災された方々との触れ合い...この貴重な機会を通して彼らは何を感じたのでしょうか。学生自身の記録により、彼らのとまどいと感動の3日間をレポートします。

響け! 鎮魂のメロディ

11

指揮者・佐渡裕さんと
甲南大生が共演!
佐渡 裕とスーパーキッズ・オーケストラ
With 甲南大グリークラブ



いのち—その尊さ、重み

世界初の「胃の動脈」を用いた心臓バイパス手術や、日本初のパチスタ手術を成功させ、「神の手をもつ男」と世界中の心臓外科医の注目を浴びた心臓外科医・須磨久善先生。これまでにたくさんの命を救ってこられた先生に、今回は「命」について、さまざまな角度からお話を伺いました。

It's KONAN
Style

07

第一線で活躍する卒業生たち
SUMA HEART CLINIC 院長

須磨久善さん

私たちは個として
存在するのではない。
命はつながっている。

甲南・平生精神を現代に——「甲南平生塾」。

甲南教育の真髄とは？

卒業生からこんなお話をお聞きしたことがあります。「自分は大きな人間ではないと自信をなくすことがよくありました。社会に出てからは、特に。でも、あるときにふと、(甲南学園の創立者の)平生三郎先生のことを思い出したんです。『人はみな天才である』と。これまで、何度このことばに励まされてきたかわかりません」。

平生先生は言っています。「人はみな、天から与えられた才能を持っている。金、銀、銅、鉄のように、人それぞれで役割が違うだけのことだ。すべての人が金になる必要はない。だから、教育する側は、人それぞれが個性を発揮できるようにしないといけない。教育とは『引き出す』ものである。知識を一方的に注ぎ込むから、肝心なときに考えることができず、すぐに参考書に頼るような人間ができてしまうのだ」。平生先生は、知識ばかりを詰め込む当時の教育を批判しました。だからこそ、知育だけではなく、徳育や体育を大切に人物教育を実現するべく、甲南学園を創立したのです。これまで、甲南大学、甲南高等学校・中学校からは、このような平生精神を身につけた、個性あふれる優れた人物が数え切れないほど巣立っています。

本年5月、甲南大学は、人物教育プログラム「甲南平生塾

(以下、平生塾)を開始しました。いま一度、平生精神の原点に立ち返ること——甲南教育の真髄を

現代に体现するべく開講した平生塾をご紹介します。

平生塾生と学長が対談——

「自分を変えたい！」

学生たちも心のどこかで人物教育を求めている。

平生塾の趣旨は、塾生たちにどのように受けとめられているのでしょうか？ 今回の座談会で学長は「甲南平生塾になぜ参加したのですか？」と塾生の一人ひとりに問いかけました。講義のテーマに興味がありました。普段何気なく使っているながら、それぞれについて深く考えた

ことはないことばかりでした(中井)。「リーダー」として社会で活躍する人と出会えるチャンスだと考えました。課題を見つけ、批判的に考える力も身につけたいです(近藤)。「興味や関心が異なる他学部の学生と交流できる絶好の機会だと思いました。自分を変えるきっかけにしたいですね(高田)と、それぞれの思いが等身大のことばで返ってきました。現代の若者たちも、心のどこかで人物教育を強く求めている——その証ではないでしょうか。

試行錯誤しながら、

人間的に成長する塾生たち——

それこそが、「甲南平生塾」の成果。

一期生の社会体験(夏期集中プログラム)は、若者の「献血離れ」と「書籍離れ」を解決することを課題として、それぞれ、兵庫県赤十字血液センター、甲南大学生協書籍部と連携して行う2つのプロジェクト。「血液センターを見学し、赤血球や血小板の備蓄が不足していることに驚いた(岡平)」「献血ルームの前で人々に呼びかける活動も行う予定(圓東)」「学外から講師の方を招き、他大学のデータと比較しながら甲南大学の書籍部の利用率について分析している(西尾)と、簡単ではない課題に懸命に取り組む様子を語ってくれました。

今後、彼らに求められるのは「魂の十講」のテーマについて自分なりに考えを深め、それぞれの日々の活動の中で生かすこと。今後も受講を重ねながら、12月の全体報告会では、試行錯誤しながら学んだ日々を、自分自身のことばで振り返ります。そのとき、塾生はどのように成長した姿を見せてくれるのでしょうか。塾生一人ひとりの人間的な成長——それこそが、「甲南平生塾」の成果です。

Hirao Spirits

平生塾の「塾」ということばには、志をもった人々が自由に集まり、心ゆくまで学んでほしいという願いを込めました。平生先生の名前を冠したのは、甲南大学として、先生が最も大切にしていた人物教育にいまこそしっかりと取り組もうという揺るぎない決意の表明なのです。

座談会では、このような趣旨を塾生のみならず、真正面から受けとめてくださっていることがわかって、本当にうれしく思いました。「講義内容にワクワクする」「講義のようで講義ではない。不思議で面白いけど、友達には説明しづらい」という感想も興味深いですね(笑)。どちらも平生塾の魅力を端的に表現していると感じています。

塾生のみならずには、大学の4年間を通じて、自分なりの「世界像」を手にしてほしいと思っています。歴史という時間を縦軸に、世界という空間を横軸にしたとき、自分はどこに位置するのか。平生塾に参加して、じっくりと考えてみてほしいのです。そこから、自分の将来を思い描く。今は、まだ漠然としているかもしれません。でも、だからこそ「未来を考える練習」が必要なのです。遠い未来を構想することこそ、若いあなた方に与えられた特権。「魂の十講」最終回は、私が担当します。そのときに再び、じっくりと語り合ひましょう。

甲南大学長 杉村 芳美 (甲南平生塾長)

未来を構想することは、若者の特権。ここで手にした「世界像」を手に、社会に貢献し、活躍する人物をめざそう。



みんなで考えて議論するから、コミュニケーション力が自然と身につきます。

フロンティアサイエンス学部 1年次
中井 大樹さん

社会体験プログラムで、リーダーシップも身につけていそうですね。

フロンティアサイエンス学部 1年次
岡平 理湖さん



たとえば、これまで何も考えずに利用していた100円ショップですが、それが普及した理由やその背景を明らかにする中で、新たな視点を得ました。

マネジメント創造学部 1年次
近藤 奨真さん



「伝える」の講義が印象的。表現について日々深く考えるようになりました。

フロンティアサイエンス学部 1年次
圓東 那津実さん



講義内容がとにかく新鮮。議論や対話を重ねてアウトプットするから、理解がさらに深まります。

マネジメント創造学部 1年次
高田 祐輔さん



甲南大生であることに誇りをもって、それを自分の生きる土台にしたいんです。

文学部 2年次
西尾 宏輝さん

熱血講義『魂の十講』(講義)

“人として当たり前のこと”
「感謝」「学ぶ」「働く」
「愛する」などについて
広く深く考えよう！
議論・対話中心。
塾生が自分たちでつくる！

社会体験プログラム(夏期集中)

講義で“心のスイッチ”が“ON”になったら、
一歩踏み出して社会に出てみよう！ 地域や
社会に出て、さまざまな人と触れ合う

人に感謝し、人から感謝されることの
喜びを体験！ 社会で求められる責任感や
倫理観を知り、身につける！

平生が望む学生像

自分の意見や考え、
夢をわかりやすく相手に伝え、
他の人と協力・調和しながら、
すすんで社会のために
力を尽くす人に

—熱血講義『魂の十講』—

甲南平生塾 KANAN HIRAO JUKU

甲南大学とかかわりのある方々が講師をご担当。

「考える」	内海 美保氏 [近畿経済産業局]	「学ぶ」	松田 泰英氏 [(株)コウベ・プレシアス・パール]
「感謝」	安田 耕三氏 [甲南大学フロンティア 研究推進機構]	「共働」	内田 真紀子氏 [甲南大学生協]
「伝える」	中島 摩子氏 [(株)神戸新聞社]	「挑戦」	中西 伸浩氏 [(株)ディー・エスピー・リサーチ]
「愛する」	寺尾 建教授 [甲南大学経済学部]	「遊ぶ」	道満 雅彦氏 [オリバーソース(株)]
「働く」	榛木 麻起子氏 [(株)NTTデータ関西]	「備える」	杉村 芳美塾長 [甲南大学長]





iPadを用いたCALLシステムが生み出すユニークな学び方。

iPadを用いることによって外国語教育はどのように変わったのでしょうか。
ユニークな学びの数々から、代表的なものをピックアップしてみました。

① 簡単、手軽に発音チェック!

iPadに向かってことばを発すると、声を聞き取って文章に変換してくれるアプリを発音チェックに活用。正確に発音しないと正しく文章化されないため、発音練習にうってつけ。「I can speak English.」と言ったつもりなのに、画面に表示されたのは、「I can't speak English.」。わずかな発音の違いで、まったく正反対の文章に聞き取られた実例です。これほど外国語の発音は難しいものですが、このアプリで楽しく練習できます。

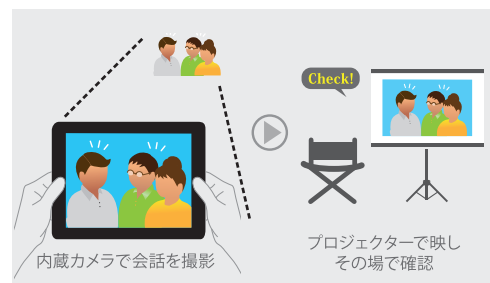
② 音声ファイルを教員に提出!

「音声録音」というCALL機能のアプリを使って、自分の音声を教員に簡単に提出できます。「ファイル共有」アプリを利用し、他の学生の声をクラスで共有して聞くこともできるので、学生たちは熱心に発音練習に励んでいます。音読テストにも活用されています。

③ 和気あいあいとした授業の雰囲気づくり

小テストを実施した後、学生個々の解答が一斉にスクリーンに表示され、全員で確認する…教室ではクイズ番組のようなシーンが繰り広げられます。「やった!正解」「わっ!間違えちゃった!」など、にぎやかで和やかな雰囲気に。

また、iPad導入により授業スタイルも簡単にグループ形式にチェンジ。iPad内蔵カメラで学生同士が会話場面を撮影し、発音などをお互いに確認するなど、授業中でのコミュニケーションが増えました。



④ 学生の意欲を向上させる仕組みづくり

日本未公開の外国映画の予告篇を観ることができるアプリを使い、学生が自分のお気に入りのクラスメートを紹介。もちろん、英語やフランス語など、学習している言語を使います。学生が自宅で作成してきたデータファイルは、クラウド(注2)を活用し、iCALL教室でも使用できます。自分がその予告篇を選んだ理由を熱を込めて語ったり、予告篇を使ったクイズを出したり、学生たちの個性を生かした発表で、プレゼンテーション能力もアップ!

※注2)データをインターネット上に保存するサービス。クラウドを用いることによって、さまざまな環境のパソコンやモバイル端末からデータを閲覧、編集、アップロードできる。

⑤ 自宅における予習・復習を促進!

クラスの9割の学生がスマートフォンを使っていることを知ったフランス語の中村典子教授(国際言語文化センター所長)は、スマートフォンから簡単にアクセスできる学習用「ブログ」(注3)を作り、毎週、小テスト用の音声資料と問題をアップすることで、学生たちが自律的に学習できる環境を整えました。また、スマートフォン用の「語学学習に便利な無料アプリ」を随時紹介し、授業外の学習ケアもきめ細かに行っています。

※注3)インターネット上で、継続的に更新される日記形式のホームページ。



中村典子教授



モチベーションの向上による今後の成果に期待が膨らむ。

「iCALL教室」が本格稼働したのは今年4月。予想を大きく超える学生たちの反応がありました。アンケート調査には「iPadを使うことが新鮮で、やる気になる」「クラス全体の向上心が上がった」「会話している動画や音声共有し確認できるから刺激になる!」などの意見が数多く寄せられています。好奇心いっぱい意欲的に取り組む学生たち、その成長が楽しみです。

iPadで外国語学習が 楽しく進化する!

甲南大学
国際言語文化センター

教育
特集2

甲南大学の外国語の授業が、生まれ変わりました!
学生の学習効率と意欲を向上させるため、
国際言語文化センター(以下、言文センター)の教職員たちが、
楽しみながら学習できる、新しい外国語教育のための
iCALL(注1)教室を完成させました。

※注1)CALL=Computer-Assisted Language Learning

・iPadは、Apple Inc.の商標です。



多言語対応のiPadと「英語+1(第2外国語)」の方針が クロスして生まれた「iCALL」という発想。

従来のCALL教室では、固定式のPCモニターがズラリと机に並んでいて、学生がデスクトップ・パソコンを操作して発音練習をしたり、映像を確認したりしているのが通常の光景でした。新iCALL教室は、iPadの導入により、パソコンが不得意な教員や学生にも使いやすい状況をつくると同時に、教室に開放感を与え、三面の壁にプロジェクターを設置した立体的な学習空間を構築して、斬新な外国語学習環境に仕上げました。

言文センター 胡金定教授は、iPadが2010年に初めて世に登場したとき、早速購入し、タッチしてみても「外国語教育にもってこいの画期的な機器だ!」と判断したそうです。薄く、軽く、どこにももって行けるiPadは、操作が簡単で、指でタッチするだけで、学習を開始でき、楽しさも付け加わります。

「一つの外国語をマスターするには、最低800時間の学習が必要だとされ、地道な努力と根気が求められるので、学習に「楽しさ」を見いだす仕組みは大切です。甲南大学の外国語教育方針『英語+1(第2外国語)』に合致した多言語対応のiPadを使ったiCALL教室では、高い学習効果が期待されます」と、胡教授は自信をもって語ってくれました。

もともと個人が専有することを想定して作られたiPadですが、授業における学生用の端末として複数の人間が共有して使うという発想のもと、システム開発会社と試行錯誤を重ねました。その結果、「外国語教育」に特化した授業でiPadを活用したCALLシステムの開発に成功、その立体的空間をiCALL教室と命名しました。iPadにCALL機能をもたせた外国語教育環境の開発は本邦初で、学内外で高い評価をいただいております。「iCALLによる外国語教育のイノベーションと主体的学習の推進」が、文部科学省の平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」(補助金)に採択されました。



発案者の胡金定教授

須磨
久善
さん

SUMAHEART CLINIC
院長

2012.3.2.

私たちは個として
存在するのではない。
命はつながっている。

いのち

その尊さ、重み



小中高生に

手術を見学するチャンスを提供。

命や将来を考える機会に。

心臓外科医として5000症例以上の手術を手がけてきましたが、患者さんの命を預かる重みや怖さは、どんなことばを用いても表現することはできません。心臓にメスを入れるわけです。患者さんが亡くなれば、すべての責任は私にある。だからとって手術をお断りすれば、やはりその患者さんは死を待つしかない。患者さんにとっては私がファイナルアンサー。そんな究極の選択を迫られる医療現場で、数々の「命」と向き合ってきました。

2000年に設立した葉山ハートセン

昨年発生した東日本大震災によって、私たちは数多くの尊い命が一瞬にして奪われる衝撃と深い悲しみを味わいました。被災者の方々の苦しみや復興への努力を他人事として受け止めてはならない。そんな一人ひとりの思いが「絆」ということばに込められていたように思います。しかしながら今、私たちを取り巻く現実はどうでしょうか。深刻化するいじめや自殺の増加、肉親の命を絶ってしまうほどの暴力など、「命」に対する認識が揺らいでいるときかと思えない痛ましい事件が頻発しています。私たちは、今一度、命について、他者の命はもちろん自分自身の命についても、考える必要があるのではないのでしょうか。

今回の「It's KONAN Style」は、「神の手をもつ男」と呼ばれる世界的に著名な心臓外科医・須磨久善先生に

「ご登場いただき、「命」についてさまざまな角度からお話を伺いました。

須磨先生は、1986年、それまで足の静脈を使って行っていた心臓バイパス(詰まりかかった血管に新たな血管をつないで血液の流れを良くする)手術において、胃の動脈を用いることを考案、手術を成功させたことで、世界中の心臓外科医から注目を浴びました。また、1996年には、日本初のバチスタ手術を行うなど、常に新しい挑戦を続け、これまでにたくさんの方の命を救ってこられています。

社会の注目も高く、2001年の『プロジェクトX(NHK)』をはじめ、多数のテレビ番組にご出演、関連書籍も出版されています。

ターで「病院見学会」をスタートしたのも、手術に立ち向かう医師の懸命な姿を子どもたちに見てもらい、命や自分の将来などについて考える機会をもってほしいと考えたからです。これまで全国各地から訪れた30000人を超える小中高校生に、心臓手術の模様をモニターで披露しました。手術を見学することによって命の大切さを実感したり、医師を志すようになったり……子どもたちは想像以上に多くのことを感じ取ってくれています。

「命は、つながっている」。

だから他者の命も

自分の命も大切にできる。

しかし、命は、医療現場だけで感じるものではありません。さりげない日常の中に



写真提供／板津 亮氏

こそ、命を感じる瞬間がある。楽しいことがあれば、誰かと分かち合いたいと願ひ、悲しんでいる人がいれば、一緒に悲しむ。私たち人間は、喜びも悲しみも他者と共有しながら生きています。それはきつと、命がつながっているからでしょう。命は個として存在するのではなく、つながっている。そのことを若い人たちに伝えたいですね。君の命は、君だけのものじゃない。もし君が死んだらお父さんやお母さんは、悲しくて病気になるってしまうかもしれないよ。君だって家族や友人が死んじゃったら、つらくて苦しいよ。だから、他の人の命も自分の命も大切にしないといけないんだよ」と。

科医・須磨久善のストーリーは生まれなかつた。これは一生、忘れられないですね。また、全力を尽くしたけれど救えなかつた患者さんも、ずっと記憶の中に生きていますし、折に触れて思い出すようにしています。次の手術の教訓にするためにも忘れることはできません。

もっとも印象的なのは、初めての手術。若造の僕に命を預けてくれた人がいて、そこから須磨久善のストーリーが始まった。

日本で初めてバチスタ手術を行ったせいか、「一番印象に残っているのは、バチスタ手術でしょう」と言われますが、実は、それ以上に忘れられない手術があります。それは、初めての心臓バイパス手術です。あのとき、患者さんは何の実績もない若造の私に命を預けてくれました。「全力を尽くします」としか言えない私を信じて任せてくれたんです。あの患者さんがいなければ、心臓外

科医・須磨久善のストーリーは生まれなかつた。これは一生、忘れられないですね。また、全力を尽くしたけれど救えなかつた患者さんも、ずっと記憶の中に生きていますし、折に触れて思い出すようにしています。次の手術の教訓にするためにも忘れることはできません。

師になった僕のところへ助けてくださいと来てくれた人を幸せにすると決意しました。そのためには、いい医師になり、誰よりも手術がうまくなり、どこよりも優れた医療チームをつくらないといけなかつた。「患者さんにとって最高に居心地のよい病院も必要だ」。医師である僕との出会いをトータルで喜んでほしいから、そう考えて全部実現させました。社会的ステイタスや収入のことは脳裡をよぎることすらありませんでしたよ。だからこそぶれずに理想を貫けたのかもしれないね。

多くの人にとって人生は後悔の連続かもしれませんが。もちろん私も例外ではありません。しかし、後悔の数を減らすことはできるはずですよ。どうしたら減らせるか。常にバストを尽くすことではないでしょうか。できることは、すべてやってみる。教えられることは包み隠さずすべて教える。そのようにして自分の育てた医師が成長して偉大な存在になるのは喜ばしいことです。先日、天皇陛下の心臓バイパス手術で執刀した天野篤教授も、かつて指導した一人。彼の活躍を心から誇りに思っています。

**「あきらめない」「裏切らない」。
この2つを守り通した人生。
そして今、新たなチャレンジへ。**

この世の中には人間の意思の力で可能なことと、そうでないことがあります。たとえば物事の勝敗や評価は、意思の力だけ



このようなコミュニケーション力は、医師だけでなく「人を相手にする仕事のすべてに必要な能力ではないでしょうか。『聞き取る力』と『伝える力』を、どちらも養うことが仕事の成否を握っていると思います。

**「患者さんの命を助ける」。
一点の曇りもなく心に決め、
緻密な成功イメージを描く。**

人の命を預かる仕事には、大きなプレッシャーがともないます。40代のころでしょうか。馬術の達人に尋ねたことがありました。「障害物を超えるとき、怖くないですか」と。すると、こんな答えが返ってきました。「怖くないですよ。跳ぶ前に、うまくゴールできて『よくやったね』と馬をねぎらっている自分をイメージしていますから」。その瞬間、大きなヒントを得たと思いました。私も手術前には、成功イメージを明確に描くことにしたのです。といっても、成功することを想像するのではなく、ネガティブな状況もすべて想定に入れたうえで、どんなアクシデントが起ころうと成功に導くことのできる道筋をクリアに描く。そして最終的に思い描くゴールが、患者さんに「先生、ありがとう」と笑顔で感謝されている幸せな光景だということです。ここまで鮮明にイメージできれば、自信をもって手術に臨むことができます。

このイメージトレーニングは孤独な作

業ですが、自分一人ですらやり遂げるしかありません。私は、人生の岐路に立つたび、自問自答を繰り返して決断を下してきました。安易に誰かに相談したり質問したりせず、一人でじっくりと考える時間を大切にします。仕事など人生における大きな事柄で、答えの見いだしにくい問題にぶつかったときこそ、根気よく自分を見つめることが大切だと思っています。その先に必ず、答えの見えてくる瞬間が待っていますから。

**幸せになりたい。
誰かに喜んでもらいたい。
それが、医師をめざした原点。**

思えば、高校時代にも自問自答を繰り返していました。当時は、高度成長時代。激しい競争に勝ち抜くモータリゼット社員が当たり前の時代だったんです。「自分はどんな人生を歩みたいのか。何が目標なのか」と真剣に悩みましたね。でも、何度自問しても出てくる答えは、「幸せになりたい」。ただそれだけなんです(笑)。人に喜んでもらえたらうれしいから、「誰かを助けてください」と考えて、思いついたのが医者で看護師でした。でも、弁護士は裁判で相手をやっつけないと勝てない。勝つためには負ける人がいるのはいやだと思っただけです。こうして「誰かを助けるために別の誰かを負かす必要のない」医師をめざそうと決意しました。

一点の曇りもなく幸せになるために、医



「外科医 須磨久善」
海堂 尊 著 1,200円(税込)／講談社
「神の手」の軌跡を描く。医療エンタテインメントの人気作家、初のノンフィクション。



「タッチ・ユア・ハート」
須磨久善 著 1,470円(税込)／講談社
日本で初めてバチスタ手術に挑んだ須磨氏、初の自著による自伝的小説。

須磨 久善さん

1950年兵庫県西脇市に生まれる。甲南中学2年生のときに医師を志す。甲南高校卒業後、大阪医科大学に進学。三井記念病院心臓血管外科部長、ローマカトリック大学心臓外科客員教授、湘南鎌倉総合病院院長、葉山ハートセンター院長、順天堂大学医学部心臓血管外科客員教授、(財)心臓血管研究所スーパーバイザーなどを歴任。胃大網動脈グラフトを使用した冠動脈バイパスを開発、日本で初めてバチスタ手術を行うなど世界的名医として知られる。現在、東京代官山においてSUMA HEART CLINIC院長。

- ・テレビドラマ「医龍 Team Medical Dragon」、映画「チーム・バチスタの栄光」の医事監修。
- ・「プロジェクトX」、「課外授業—ようこそ先輩」(NHK)など紹介番組多数。
- ・2010年 自身の半生を題材とした「外科医 須磨久善」(水谷豊主演)がテレビドラマ化された。
- ・2010年 日本心臓病学会栄誉賞受賞
- 対象となった研究の詳細は[日本心臓病学会HP/ <http://www.jcc.gr.jp/pink/eiyo.html>]
- ・2012年6月 初の自伝的小説「タッチ・ユア・ハート」(講談社ノベルス)を執筆・出版。

●須磨久善氏のウェブサイト

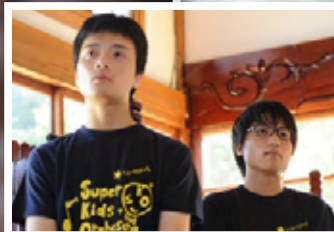
「SUMA SQUARE」<http://sumaheart.jp/>

JAL国際線機内誌に掲載されたインタビューや専門学会での研究発表など、須磨氏のご活躍をご覧ください。

響け! 鎮魂のメロディ

佐渡 裕と
スーパークイズ・オーケストラ
with 甲南大グリーククラブ

「東日本大震災被災地に捧ぐ」



甲南大学が4年前から応援している佐渡裕とスーパークイズ・オーケストラ(以下、SKO)。8月19日(日)21日(火)、佐渡さんとSKOの面々が、東日本大震災犠牲者への鎮魂および被災者のみなさんの心の復興の願いを込め、岩手・宮城両県7か所を巡るコンサートを開催されました。佐渡さんとSKOの被災地コンサートは、昨年に引き続き2回目。今年は、何と本学のグリーククラブが共演させていただくこととなりました。当コンサートでは、被災者のみなさんが一緒に歌える曲を演奏し、元気になってもらいたいという佐渡さんのお考えで、坂本九さんのメドレー(上を向いて歩こう)見上げてごらん夜の星を(明日があるさ)が演奏されました。メドレーでは、聴衆のみなさんが歌いやすいように、先導して歌う人がいる方がいいということから、「学生さんにお手伝いしてもらえませんか」と、佐渡さんから甲南大学へご依頼をいただいたのです。甲南大学も、阪神・淡路大震災で校舎の7割近くが損壊し、たくさんの方からご支援をいただいたのです。そのため、少しでも東日本大震災の被災地復興のお役に立ちたいと考え、学生を中心としさまざまな活動を行っています。被災地に赴くことで、学生はたくさんのことを学んで来ます。また、世界で活躍する佐渡さんとの共演は、非常に貴重な機会となることから、グリーククラブの学生たちに声をかけ参加してもらいました。彼らは、被災地でのコンサートを通じ、何を感じたでしょうか? 学生自身によるレポートをご紹介します。

8月19日(日)

◎AM 10時00分 僕は、緑にかこまれたいわて花巻空港に降り立った。テレビで見たあの被災地に来たんだ…。空港のまわりは整然としていて、実感が湧かない。被災者の方々に前に、僕たちは鎮魂の思いを込めて歌うことになっている。僕たちで大丈夫なんだろうか?

新花巻駅で、佐渡さんたちと合流。はしゃいでいるスーパークイズは、ふつうの子どもたちだった。

バスで1回目のコンサートが行われる大槌町の吉祥寺へ向かった。建物がポツリポツリとしかない土地が見える。「このあたりは空き地ばかりですが、震災前は建物がびっしり建っていたんです」。バスガイドさんの説明を聞かなければ、もともと空き地だったんだと思うでしょう。がれきはきれいに撤去されていたが、バスが進むうち、巨大ながれきの山が見えた。撤去されたがれきは、このように何か所かに分けて集められているらしい。「被災地の人たちは、がれき」ということを聞くにつらいんです。津波で流される前、がれきは自分たちの生活の一部だったわけですから」。バスガイドさんのことばに胸が

チクツとした。

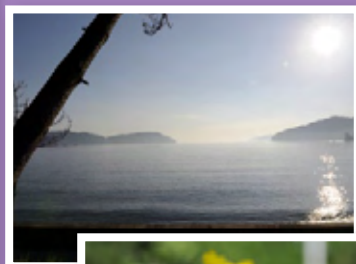
◎PM 2時30分 吉祥寺到着。住職さんと町の人々が笑顔で迎えてくれた。すでにお寺のお堂にはお客さんがたくさんいた。SKOが音出しを始めたのを聞いて、急に緊張してきた。「僕たちがここで歌うんだ」。

いよいよ初めての演奏。その前に佐渡さんが挨拶をされた。「昨年の8月も被災地を訪れましたが、物理的にはほとんど復興が進んでいない状況を見て、胸が痛みます。今日は、みなさんの心の復興を願い、精いっぱい演奏させていただきます」。心のこもったことばだった。被災された人たちと会う心構えが全然できていない自分が恥ずかしい。SKOの演奏が始まった。「すごい!」さっきまでふつうの子どもたちだったのに、この演奏レベルの高さは何なんだ! 圧倒される。しかも、僕たちグリーククラブが5人なのに対して、SKOは42人。オーケストラの音が大きすぎて、僕たちの歌声はお客さんに聴こえないんじゃないのか? 動揺している間に出番が来てしまった。「次は、坂本九さんのメドレーを演奏したいと思います。このSKOの活動にさまざまな形で支援をしてくださっている甲南大学のグリーククラブが歌ってくれますので、どうぞみなさんも一緒に歌ってください」。佐渡さんが紹介してくださった。前奏が流れる。「上を向いて歩こう!」。5人がバラバラに立っていることもあって、僕たちの声がか細く散って消えていく。SKOの伴奏しか聴こえない。焦る。「1人1人出ず春の日 一人ぼっちの夜!」。歌ってみると、歌詞が、3月11日の震災のイメージと重なってしまう。僕たちがまだ経験したことのない、深い悲しみがあるこの被災地で、「1明日がある」と歌うことは、ひどく無責任なんじゃないのか? 犠牲になった人々の鎮魂のために、被災された方々の心の復興のために、祈りを込めて歌わなきゃいけないのに、ただただつらい。それでもお客さんは一緒に口ずさんでくれていた…。佐渡さんとSKOの演奏はすばらしく、大きな拍手をもらっていた。僕たちは役に立っていない気がして、ひたすら申し訳なくてしんどかった…。

1回目のコンサートが終わり、宿舎に向かった。バスの窓から枯れた木々が見えた。海からかなり離れたその場所まで津波が来たということだ。津波の恐ろしさを実感して、心がさらにどんよりとした。

◎PM 5時30分 宿舎に到着。根浜海岸に面した宝来館という旅館だった。こも津波の被害を大きく受けたそう。旅館の女将さんは、津波を避けるためいち早く裏山に避難したが、逃げ遅れた人々を助けるために、自分の命をかえりみず再び山を下りた人でテレビで観たことがあった。この女将さんが、佐渡さんに「東北へ来て、被災者を励ましてください!」って手紙を書いたことがきっかけとなり、佐渡さんとSKOの東北ツアーが昨年実現したそう。海はとても穏やかだったし旅館はきれいになっていて、女将さんもニコニコ笑って迎えてくれた。目の前の海から襲ってくる津波、破壊されていく旅館…相当怖くてつらかっただろう…。

夜は、地元の人たちとの懇親会を開いていただいた。佐渡さんが、リコーダーでタイガーマスクの歌を演奏したり、2本一緒に吹いてみせてくれたりした。佐渡さんのような大物がそんな芸を見せてくれるなんて…! みんな楽しそうに笑っていた。佐渡さんは本当にすごい人だ。



8月20日(月)

◎AM 6時00分 起床。宝来館の前に広がる海が、朝日にキラキラ光っていた。

◎AM 8時00分 根浜海岸で、海に向かって鎮魂コンサート。僕たちはここでは出番がないと聞いていたが、急遽佐渡さんの発案で童謡「ふるさと」を歌うことに。「♪夢は今もめぐりて忘れがたきふるさと」。たくさんの方が、まだ海の底に眠っていると聞いた。顔を伏せて泣きながら歌を聴いてくれる人がいた。その姿を見て、僕も泣きそうになった。「亡くなった方が安らかに眠られますように」。必死で涙をこらえながら歌った。

◎AM 8時45分 次のコンサート会場へ向けて出発。宝来館の女将さんと握手してお別れ。女将さんは、深々と頭を下げ、「ありがとう！」とギュッと手を握ってくれた。僕たちには想像もできないくらいいい思いをしたのに、明らかにたくましく生きる女将さん、僕たちの方こそありがとうです！

◎AM 10時30分 大船渡リアスホール到着。演奏するロビーは、お客さんでいっぱいになった。

また泣きながら歌を聴いてくれている人がいた。「♪ほくらのように名もない星がささやかな幸せを祈ってる」。被災地の人たちは、ささやかな幸せさえ奪われたんだ。また悲しくなって、ついに歌いながら泣いてしまった。涙が止まらない！

拍手喝采の中、コンサートが終わり、次の会場へ。バスに乗った佐渡さんとSKO、僕たちに、お客さんたちが手を振ってくれた。「ありがとう！ありがとう！」と叫ばれることが、こんなにうれしいなんて！今度はうれしくて涙が出た。

やはり空き地の多い土地をバスで走り、陸前高田自動車学校、南三陸ベイサイドアリーナそれぞれで演奏した。移動の途中、奇跡の一本松と呼ばれる松の木を見た。「こは、7万本の松が植えてあったのですが、津波で倒れてしまいました。でも、なぜかたった一本だけ残ったんです」。バスガイドさんが説明してくれた。今は復興のシンボルになっているそうだ(枯死に至ったことが確認されたため、2012年9月12日に伐採されました)。

南三陸に着いたとき、佐渡さんから指導をいただいた。「元氣良く歌ってね。観客のみなさんが歌いやすいようにうまくリードして」。初めて被災地を訪れて、気持ちグチャグチャになり、本来の役割を果たせないでいた。「でも、5人しかないから、声が届かないし」と誰かが言った。「最初からできないって言わないで、やってみよう！」と先輩が言った。ふと、奇跡の一本松が頭に浮かんだ。そうだ！震災から1年と5か月がたつて、僕たちが一緒に泣いていたなら、被災した人たちを励ますことなんてできない。心の復興その願いを込め、身体をリズムに乗せて、笑顔で歌おう！「みなさんが笑顔になれる日が、一日でも多くありますように！」。またも大きな拍手をいただき、バスを見送ってもらった(もちろん、僕たちの力ではない)。

◎PM 5時30分 石巻の大街道小学校到着。会場の体育館は、500〜600人くらいのお客さんで溢れ返っていた。地元のゴスペルグループや津波で楽器を流された宮城県石巻好文館高校の吹奏楽部とも共演した。「♪上を向いて歩こう」。SKOや好文館高の奏でる音と、聴衆のみなさんと僕たちの歌が一体となり、大きなうねりのように力強く体育館に響いた。

◎PM 8時00分 石巻の人たちとの交流会。僕たちは隅っこでおとなしくしていたが、ある人が「甲南のグリークラブさん、何か歌ってくださいよ！」とリクエストしてくれた。部員同士で相談し、SKOが元気に手拍子してくれる中、宮城県の民謡「斎太郎節」を歌った。みなさんがとても喜んでくれて、アンコールをもらった。少し、ほんの少しだけ役に立てた気がして、ややホッとした。

8月21日(火)

◎AM 11時00分 名取市文化会館小ホール。いよいよ最後のステージだ。ここでもプロの吹奏楽バンドと共演した。「♪二人なら苦しくなんかないさ」。笑顔で明るく元気に歌えた。歌っている途中、観客の方と目が合い、微笑み合えた。

◎PM 12時30分 佐渡さん、SKOとお別れ。SKOはふつうの子どもに戻っていた。一日中バスで移動し、降りては歌いまたバスに乗る3日間、長いような短いような不思議な時間だった。だけど、間違いなく充実していた。初めて目にした被災地。未曾有の大災害を経験しながらも明日を見つめて生きていこうとしている人たち。音楽の力を見せてくれた佐渡さんとSKO。数えきれないほどの人たちとの交流があり、そこに感動があった。多くのことを学んだし、元気をもらったのは僕たちの方だった。

今、生きているのは、当たり前なことではない。そして、ちっぽけな僕たちだけど、誰かの役に立てることがわかった。今回の経験で、僕たちの中で何かが変わりそうな気がしている。まだ、うまくことばにはできないけれど。

参加メンバー

- | | | | |
|----------|------------|------------------|------------|
| ◎東 一樹さん | 知能情報学部 4年次 | ◎齋藤 雅史さん | 知能情報学部 4年次 |
| ◎伊藤 雅彦さん | 知能情報学部 3年次 | ◎小山内 健介さん | 知能情報学部 3年次 |
| ◎服部 裕太さん | 文学部 3年次 | (すべて文化会グリークラブ部員) | |



◀2,000人の聴衆の前で坂本九メドレーを披露しました。

甲南大学、甲南中学校、甲南小学校、甲南女子中学校の学生・生徒が学校の枠を超えて和気あいあい！



2012年8月30日(木)PM 6:00〜兵庫県立芸術文化センター大ホールで行われた「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラコンサート」に、甲南大学生を中心とする「甲南大学Choir with friends」がコーラスで出演しました！

先生！
知の最前線を
教えてください

なるほど！

甲南
アカデミア

地域の人々とともに
みんなが幸せに暮らせる
まちをつくりたい。

日本は今、さまざまな分野で格差の問題がクローズアップされています。地域格差も拡大する中、人々が安心して幸せに暮らすために、どのような「まちづくり」が求められているのか。この課題に正面から取り組んでいるのが経済学部経済学科の石川路子准教授です。その研究内容に加えて、ダウン症の乳幼児子育てサークルと学生が交流を深めるなど、異色のゼミが生まれた背景やそこに込めた思いについてもご紹介します。

地域の人々は
学生に期待している。
課題と正面から向き合って
成長を遂げてほしい。

私は、ゼミ生に「地域から学ぶ」ことの重要性を教えています。地域は私たちにさまざまな課題を教えてくれます。それを解決する方法を自分たちで考えてみる。そこに教科書はありません。これまで考えたことのない課題に直面し、大きな挫折感を味わうかもしれません。ただこの経験は、自分自身を成長させるうえでとても重要なことだと思います。また「自分にもできることがある」ということを知ってほしい。社会人になると、自分一人ではどうしようもない大きな壁にぶつか

「子どもたちと遊んでやってもらえませんか」
お母さんたちのことばが
学生たちの
背中を押してくれました。

私たちがさらに心強くさせてくれました。これを機に「ほかほか広場」と学生たちの交流は、ゼミという講義の枠を超え、今も続いています。

地域ごとの「格差」を計る
新しいものさし
(指標)をつくって
まちづくりに生かせれば…

豊中市を中心に活動しているダウン症の乳幼児子育てサークル「ほかほか広場」。学生たちは、このサークルの抱える課題を知るために調査を行いました。だが、すぐに壁にぶつかったようです。「現行の制度を批判することはできるけど、それでいいんだろうか」「当事者ではない自分たちが考える解決策は、本当に正しいのか。悩む彼らに私がしたアドバイスは「そう思ってるなら素直に聞いてみれば？」「僕たちにでもできることって…ありますか？」おそるおそる尋ねた質問に返ってきたのは「子どもたちと遊んでやってもらえませんか。それが一番、うれしい」という答えでした。「いろいろな人たちとの触れ合いを通じて子どもたちに社会への適応力を身につけさせたい」。お母さんたちはそう願っていたんです。

学生たちは、さっそく甲南大学でハロウィン・パーティーを企画。「小さなお友だち」が楽しく遊べるよう、貼り絵遊びを考えました。「画用紙の角が尖っていたら、危ないよね」「もちやすいように大きなパーツを作ろう」なんて意見を出し合いながら。パーティーの後、子どもたちからフェルトで作った花束をもらいました。「ありがとう」「また遊んでね」ということはを前に、学生たちの顔は照れながらもうれしそうに輝いていました。

「自分たちが『サポートしなきゃ』と思っていたのに、そんな気持ちを忘れるくらい楽しかった」。ある学生のことばです。継続的な支援にはWin-Win（両者に有利）の関係は重要です。学生たちは、背伸びしなくてもできることがあることに気づいたようです。「これからもぜひよろしくお願いします」サークルのみなさんからの温かい声が

自分の意志で「幸せ」を選ぶ。
そんなクオリティ・オブ・ライフの
実現をめざしています。

私は今、科学研究費補助金を受けて地域格差、特に医療格差についての研究を進めています。先ほど申しあげたとおり「格差は人々の行動によって生まれます。では、格差は是正すべきでしょうか。」「勝ち組」「負け組」ということばがあるように、「一般的に「格差＝悪」というイメージが強いかもしれませんが、本当にそうなんですか。たとえば、基本的に病院に行かず市販薬で済ませる人は、何かあったらすぐに病院に行く人に比べて不幸なんですか。病院に行きたいけど「お金がないから」行けないのであれば不幸ですが、「面倒くさいから」行かないのであれば、不幸じゃないかもしれません。そう考えると「安易に「格差＝悪」と結論づけるのは早計かもしれませんよね。格差の是非を議論する前に、格差をきちんと分析・評価すべき。私は今、格差を計るための指標の開発に取り組んでいます。

格差指標は「幸せ」を計るバロメータにもなりますが、その解釈は十分注意する必要があります。ある島には、寝たきりの高齢者が一人もいません。一見、元気な高齢者ばかりのこの島はパラダイスに見

経済学部 経済学科

石川 路子 准教授

国際公共政策博士。神戸大学工学部環境計画学科卒業、神戸大学大学院自然科学研究科建設学専攻修了、大阪大学大学院国際公共政策研究科比較公共政策専攻博士後期課程修了。医療・介護格差の現状分析とその評価に関する研究を通じて人口減少・高齢化時代に有効な「医療・介護システム」の提言を行っている。研究と並行してダイビングを楽しむなどプライベートもアクティブ。パラオの海で英気を養っている。



「ほかほか広場」のみなさんとゼミ生たち。それぞれの笑顔が印象的です。



乳幼児子育てサークル「ほかほか広場」のみなさんを甲南大学へ招いて遊んだときのワンシーン。



甲南大学文化会 能楽研究部
「女郎花」より

祝 日本一!

第四回
全国学生能楽
コンクール

**最優秀賞
受賞!**

メンバー。「甲南大学に入学するまでは、能にも、狂言にもまったく興味がなかった！」と口をそろえる彼らの本音トークから、今どきの若者だからこそ発見できた「能楽」の斬新な姿と自由な楽しみ方が見えてきました。

能は、ファンタジーの宝庫。 バラエティー豊かな 物語世界が広がっている。

飯長 僕は日本の歴史やお伽草紙などの昔話が好きだったから、能の物語にも興味があつたんですよ。西洋では、いろいろなストーリーの原型が聖書に見つかるように、僕たちの知っている逸話が能楽の演目にはたくさん見つかる。「日本文化は、昔から今までずっとつながっているんだなあ」と実感できますね。

立川 それに物語がすごくバラエティー豊か。

入部のきっかけは、勘違い。 「農学部」に行ったら、 「野菜がもらえるかもー」と。

三吉 みんなは、何がきっかけで能楽研究部に入ったのかな。僕は、あるとき先輩に「量の部屋で練習する部活に来てみない？」という面白い誘われ方をして(笑)、興味本位で行ってみたのが始まり。いざ、見学に行ってみたら先輩たちがみんな親切で魅力的で、「ああ、僕もこの一員になりたいな」と思っって入部を決めたんだけど。

大城 私も、1年次の4月に先輩に誘われたのがきっかけ。でも「能楽」を「農学」と勝手に勘違いして「農学のクラブなら、じゃがいもや大根をもらえるかもー」と思っって見学に行つたの。一人暮らしを始めたばかりで節約したかったから(笑)。

三吉 ええ!?すごい間違い(笑)。で、行っってみてどうだった?

大城 能楽練習場の扉を開けたら広い和室があつて。神戸の地に、遠い故郷を見つけた気分(笑)。

立川 ああ、その感じ、わかります。僕も最初に能楽練習場に入った瞬間、量の空間に居心地の良さを感じたから。そのとき、ちょうど先輩が個人練習をしていたんだけど、もう、めちゃくちゃかっこよくて…。能に対するイメージが180度変わったんですよ。それまで能といえば静かで退屈なイメージだったけど、先輩の舞いは、すごく躍動的。「うわあ、こんなにカッコいい世界があるんだ!」と。当時、違うクラブに入ろうか迷っていた

かっこいい!ファンタジー!奥深い“能”の魅力に取りつかれた私たち。

「能楽」。日本の伝統文化ではありますが、現代の日本では、多くの人が「難しそう」「敷居が高い」と感じているのではないのでしょうか。しかし、そんな能楽に魅せられた若者たちが甲南大学にいます。彼らは創部60余年の伝統を誇る甲南大学文化会 能楽研究部のメンバー。「能楽のかっこよさを多くの人に知ってもらいたい!」と語る彼ら。なぜ、それほどまでに能楽に魅力を感じるのでしょうか?!

この日、集まってくれたのは、能楽研究部の2年次から4年次までのメンバー。「甲南大学に入学するまでは、能にも、狂言にもまったく興味がなかった!」と口をそろえる彼らの本音トークから、今どきの若者だからこそ発見できた「能楽」の斬新な姿と自由な楽しみ方が見えてきました。

「能楽」。日本の伝統文化ではありますが、現代の日本では、多くの人が「難しそう」「敷居が高い」と感じているのではないのでしょうか。しかし、そんな能楽に魅せられた若者たちが甲南大学にいます。彼らは創部60余年の伝統を誇る甲南大学文化会 能楽研究部のメンバー。「能楽のかっこよさを多くの人に知ってもらいたい!」と語る彼ら。なぜ、それほどまでに能楽に魅力を感じるのでしょうか?!

「能楽」。日本の伝統文化ではありますが、現代の日本では、多くの人が「難しそう」「敷居が高い」と感じているのではないのでしょうか。しかし、そんな能楽に魅せられた若者たちが甲南大学にいます。彼らは創部60余年の伝統を誇る甲南大学文化会 能楽研究部のメンバー。「能楽のかっこよさを多くの人に知ってもらいたい!」と語る彼ら。なぜ、それほどまでに能楽に魅力を感じるのでしょうか?!

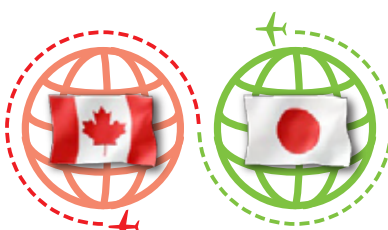
「能楽」。日本の伝統文化ではありますが、現代の日本では、多くの人が「難しそう」「敷居が高い」と感じているのではないのでしょうか。しかし、そんな能楽に魅せられた若者たちが甲南大学にいます。彼らは創部60余年の伝統を誇る甲南大学文化会 能楽研究部のメンバー。「能楽のかっこよさを多くの人に知ってもらいたい!」と語る彼ら。なぜ、それほどまでに能楽に魅力を感じるのでしょうか?!

「能楽」。日本の伝統文化ではありますが、現代の日本では、多くの人が「難しそう」「敷居が高い」と感じているのではないのでしょうか。しかし、そんな能楽に魅せられた若者たちが甲南大学にいます。彼らは創部60余年の伝統を誇る甲南大学文化会 能楽研究部のメンバー。「能楽のかっこよさを多くの人に知ってもらいたい!」と語る彼ら。なぜ、それほどまでに能楽に魅力を感じるのでしょうか?!

甲南大学文化会 能楽研究部



※演目のクライマックス部分のみを、登場人物の役者以外の演者たちの語(うた)だけで演ずる、ダイジェスト版とも呼べる演能形式。



僕らの留学。

今じゃなきや
ダメなんだ！

高校生にしかできない留学がある。
僕らの目に映る海外は、どんな感じだろう？
国際社会における日本の立ち位置は、
どうなんだろう？ 自分自身で感じ、
確かめよう。言語だけでなく、歴史や文化、
その国特有の価値観、目にするもの
耳にするものすべてを学ぼう。

10週間の海外留学を核とし、
グローバル社会で活躍する人材を育てる
甲南高等学校・文エコースの
「グローバル・スタディ・プログラム」。
カナダ留学を終え帰国した4人に、留学先で
体験したこと、感じたことを語ってもらい、
当プログラムの意義を浮き彫りにします。

高校生の今だから。
そんな留学をしたかった！

末野 僕は「グローバルスタディ・プログラム」の話を聞いたとき、すぐ両親に「留学したい！」って言った。高校でしかできない体験をしておきたいと思ったから。

で行ってアメリカのシアトルにも遊びに行ったり。僕からは、おみやげに持って行ったお箸の使い方を教えた。すごく充実した毎日だったな。

衝撃を受けた。

三年 末野 康平さん

末野 僕はフィリピンから移民してきたご家族のところで、お世話になった。小学生の男の子と幼稚園児の女の子、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、6人家族。温かく接してくれて居心地がよかったな。インディカ米の食事が最初はちょっと苦手だった。帰るころには、慣れたけど（笑）。

新井 至るところで文化の違いを感じたよな。「日本人の信じている神は何？」って聞かれてちょっととまどった。日本では、あまり宗教について話さへんから。

清水 僕は中国人留学生に「南京大虐殺についてどう思う？」って聞かれた。留学前に「東アジア交流関係史」の授業で近現代の歴史を勉強してきたから、何とか自分なりの考えを話せたけど、もし勉強していなかったら困ってたやろうなあとと思う。

すでに将来を真剣に考えている、
他国の高校生たち。

末野 留学したことで、自分が変わったと感じることはある？僕は、中国人の留学生に「そんなに短期間の留学で何が身につくんだ？僕は中学の3年間一生懸命勉強してカナダにやってきました。次はアメリカに留学する」と言われて、その真剣さに衝撃を受けた。そんなこともあって留学中から将来について、いろいろ考えるようになったん。



三年 新井 寛己さん

清水 僕は、英語を使う仕事に就きたいって思うようになった。CUBE（甲南大学マネジメント創造学部）に進学して国際的に活躍できるようにしたいって、具体的な目標ができた。

新井 僕はCUBEの特別留学コースに進学して、カナダのビクトリア大学に留学したいと思う。今回の留学中にビクトリアを訪ねたん

新井 このプログラムで留学の前後に日本でも受ける授業もいろいろある。英語の授業のほとんどが英語で行われるという。英語でスピーチやディスカッションをしたり、論文を書いたり。2年間、本当にしんどいけど、みっちりレベルの高い授業で。

清水 留学先はイギリスもオーストラリアも選べたけど、僕はみんなカナダを選んだ。僕は北アメリカの英語を学びたかったから。

末野 あと、バンクーバーの高校で現地高校生と一緒に学べる点も魅力だったな。

一楽 現地の高校に留学できるのは高校時代だけやね。アジア、南米、ヨーロッパ。さまざまな国からの留学生との出会いに感じた世界の広さ。

新井 留学先の英語の授業にはびっくりした。世界各地からの留学生がいたもんな。

一楽 うん、うん、驚いた！中国、韓国、インド、ブラジル、ドイツ、アフリカ系やアラブ系、本当に多国籍！世界は広いなあって。

末野 まだ英語がしゃべれないうちは、ジェスチャーでコミュニケーション笑。でも、いつの間にかすごく仲良くなれてうれしかった。言葉はもちろん大事だけど、それほど語学力がなくても気持ち通じ合えるんやと思った。

一楽 カナダの高校生と二階に受ける授業も楽しかったよな。ウェイトトレーニングの授業なんてすごく新鮮だった。現地の女子とも友達になれたし、男子校の僕らにとっては、国籍も性別も違うという2つのハードルがあったわけやけど（笑）。

驚いた。

三年 一楽 輝さん



やけど、すごくきれいやし静かな場所でも感動してん。将来は、英語力をつけて外資系の企業で働きたいな。

一楽 大学卒業までに英語と中国語をマスターしたい。カナダには中国人留学生が多くてみんな勉強熱心だった。「やっぱり、中国の勢いはすごい！」って感じだし、これからは、中国の影響が大きくなると思うから。

末野 僕は、まだ具体的な進路は決めていないけど、どんな道に進んでも「法」の知識は必要だと感じるから法学部に進学したいと思っている。もちろんアーチェリーでも、もっともっと上をめざしたい。

新井 帰国する前、インターナショナルクラスのみんながメッセージカードをくれたよな。めちゃくちゃ感動した。

末野 うん。忘れられへん思い出がたくさんあったよな。

◎「グローバル・スタディ・プログラム」の流れ

1st Stage	2nd Stage	3rd Stage
留学準備 高校2年生 1・2学期 自分を知り世界を知る学習と、留学を充実させるための実践的な英語力を育成。	海外留学 高校2年生 3学期 独立心を養い、文化的多様性を体験し、実践的英語力を飛躍的に伸ばす。	体験共有 高校3年生 留学での成果を仲間と共有、選んだテーマを探究し、大学以降の学びへとつなげる。

詳しくは下記URL（甲南高等学校・中学校 受験生向けサイト）からご覧ください
<http://www.konan.ed.jp/kouhou/curriculum/global.html>

われわれは、地球に生きる一人。
世界の多様性を理解して、
豊かなコミュニケーション力を
身につけてほしい。

教育研究部長 英語科担当
中原 敦 教諭

今年も留学を終えた生徒たちが、たくましく成長し帰ってきたことをうれしく思います。

「グローバル・スタディ・プログラム」は、創立者 平生先生の「世界に通用する紳士たれ」という教育理念を體現した、留学を核とする本校独自のプログラムです。留学といっても、単に英語を習得するという目的のものではありません。言語技術としての日本語の読解・表現力や国際政治・経済・異文化に対する深い理解も同時に育みます。留学前には、あらかじめ留学先の文化や歴史を学び、一人ひとりが関心のあるテーマを決定しておきます。そして、留学中に図書館で調べたり、アンケート調査を実施するなどして理解を深め、帰国後、成果を論文にまとめます。つまり、留学中だけでなく、準備段階から帰国後、卒業するまでの2年間をフルに使い、自分の頭で考え、調べ、理解し、表現する訓練を積み重ねていく。自分で考えたり感じたりしたうえで納得したことは忘れません。こうすることで、「はがれ落ちない」真の学力と国際的センスが身につくのです。

われわれは、東日本大震災のとき、国を越えて多大なる支援を受け、あらためて世界とつながっている自分たちを意識しました。当プログラムで学んだ生徒たちも、世界を良くするための市民へ成長してくれることを願っています。

移民の国・カナダ。
多国籍なホストファミリーが
温かく迎えてくれた。

楽しかったな。

三年 清水 惇さん



末野 そうそう！結果は、僕らが1位から3位までを独占という（笑）。

一楽 うれしいよ。うな、申し訳ないような。でも地域の新聞や校内放送でも紹介されて、いい思い出になったよな。

新井 ホストファミリーも多国籍で笑。僕のところは、ギリシャから移民してきたおじいちゃんとおばあちゃん夫婦、時々お孫さんがやってきて、一緒に遊んで楽しかったよ。僕のほかにドイツ人の留学生もいて、いろんなことを2人で語り合った。

清水 僕のところはポルトガル移民の家族。娘さん3人全員がスポーツをしていて平日は家にいないねん。でも日曜の朝になると何となく庭でトランポリンやろう！って無理やり起こされる（笑）。中国人の留学生も同居していて、すごく仲良くなった。一樂君は、実の息子みたいに大事にされたって？

一楽 うん。ルーマニアから移民してきたご夫婦なんやけど、本当の家族みたいに接してくれた。休日にはいろんなところに連れ

平生が漢字廃止論に接したのは、大正10（1921）年4月8日の大阪倶楽部における山下芳太郎との談話においてである。山下は、東京高等商業学校の平生の後輩であり、外務省外交官を経て住友の要職にあった人物である。彼は我が国に於て児童は素より、中学大学の課程にある青年に至るまで、文字の為にどれ程多くの時間と脳力とを徒消するかは既に定論のある処である（『国字改良論』大正9年、カナモジカイ）と述べ、漢字学習の負担を軽減し理解力を高めることをめざして、住友在職中に「仮名文字協会」（後の「カナモジカイ」）を立ち上げたのだった。50歳を過ぎた大正9年に山下は住友のあらゆる役職を辞して、国字改良運動に専念していた。

山下の事業に感銘した平生はその日の日記に次のように書いている。「日本ニハ尤モ簡明ナル片仮名アリ。而シテ片仮名ハ今日ニ於テ日本人中之ヲ知ラザルモノナシトイフモ誣言ニアラズ：余ハ官民共ニ漢字ハ廃止スベキモノナルコトニ一致シ、ニ三年ノ時期ヲ以テ代用スベキ仮名ヲ制定スベク、而シテ其ノ期間満了後ニ於テハ公文書ハ勿論 諸学校ニ用ユル教科書ニハ必ズ仮名ヲ用ユベキコトヲ以テセバ、漢字

漢字廃止論との出会い。

平生鈇三郎と漢字廃止論

平生鈇三郎日記刊行記念シリーズ

文学部 教授
有村 兼彬

廃止ハ忽チニ実行セラレ多少ノ障害ハ時方之ヲ撤廃スベシ。平生はその論拠として英国で教育を受けた小学生の子どもが *Spelling Book* を読んで、ワシントンにおいて行われている軍縮協議について平生の意見を問うたことを挙げる。新聞を解読できない日本の小学生がワシントン軍縮会議について語ることは考えられないと驚き、この格差を生じる元凶が難し過ぎる漢字にあることは明らかだと言ふ。このような経験もあって、平生は上述の如く「急進的」漢字廃止論へと突き進んでいくのである。

人生三分論。

平生が山下に共鳴したのは、もう一つ側面があるように思われる。山下の生き方は平生の「人生三分論」に符合するものであった。平生はこう思う。人生を「自己教育の時代」、「自己の社会的基礎設立時代」、「社会奉仕の時代」に分け、「五十代ヲ以テ自己ノ事業ヨリ離レテ他人ノタメニ尽力セン」（平生日記、大正13年11月29日）。まさしく五十代半ばにあった平生が、同様に五十代初期にある山下が住友の職を捨て私財を投げ打って、日本人の基本的学力向上をめざして国字改良を唱える姿に共感しないはずがない。残念ながら病を得た山下は、その1年後に

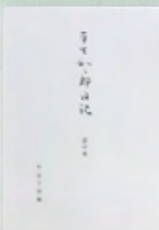


東京海上火災勤務当時の平生鈇三郎

亡くなるのだが、山下死去後平生は「山下芳太郎君遺志国字改良事業資金を各方面に呼びかけた。大正13年、平生は伊藤忠兵衛、日向利兵衛らとともにカナモジカイの理事に就任する。つまり、平生にとれば漢字廃止論は人生第三期の社会奉仕の一形態なのである。

しかし、当時東京海上火災の重役であった平生は自由の身になり社会奉仕に身を捧げたいと思いつくが、関東大震災後の難問も重なり、なかなか辞職を切り出せる状況ではなかった。最終的に平生の辞職が了承されるのは大正15年2月26日である。その日の日記に平生は意気揚々と述べる。「余ハ：全然自由ノ身トナリ余ガ為サントスル教育ノ改革、国語ノ改良、移民ノ問題、資本家ノ覚醒、労資ノ協調等ノ事業ニ身ヲ投ズルヲ得、余ハ意義アル一生ヲ終フルヲ得ルモノニシテ実ニ余ハ新生涯ニ入ルヲ得ベク実ニ愉快ニ堪エザルモノナリ」。東京海上火災を辞した平生はその後カナモジカイの活発な広報活動に専念し、日記においても随所に漢字廃止論を主張する。また、その所信を『漢字廃止論』（第4版、カナモジカイ、昭和11年）に詳述した。

『平生鈇三郎日記』 第一巻～第五巻を刊行中です。



『平生鈇三郎日記』第一巻～第五巻を刊行しました。定価は各巻20,000円（税抜）ですが、甲南学園関係者の方（卒業生、在学生、ご父母、教職員等）は、10,000円（税抜）でご購入いただけます。

ご注文・ご購入に関するお問い合わせ
甲南大学生協書籍部 Tel.078-441-7901 Fax.078-441-7915



Actualités du Lycée KONAN de Touraine-France

フランス甲南学園トゥレーヌだより

日本とフランスの高校生が、
力を出し合いつくりあげたー最後の体育祭。



5月14日（月）、ギー競技場においてフランス甲南学園トゥレーヌの最後の体育祭を開催しました。本校生20名に加え、マルムチエ高校など地元3校と短期交換留学で本校を訪れていたカミーユ・クロードル高校など協定校2校から、計約150名のフランス人高校生を招き、盛大なものとなりました。

本校の体育祭は、日本人とフランス人の高校生が混合でチームを編成するのが伝統。短距離走やリレーなどのほかに、三人四脚、綱引き、玉入れなど互いの協力や団結が必要な競技も交えて行います。日仏高校生の絶好の交流の機会であると同時に、一学校の行事の枠を超えて地元住民からも愛され続けてきました。

青く澄み渡った空のもと、日仏高校生たちが最後の競技まで一致団結して勝利をめざす姿、交換留学生と協力し合ってこれまでにないほどスムーズに運営した本校生たち、そして何より参加したすべての高校生たちの笑顔が印象的でした。

地元の方々からの閉校を惜しむ声や、長年にわたり日仏交流の場を提供してきたことに対する感謝の声に送られながら閉幕した本校最後の体育祭。これまで体育祭を支えてくださった地元高校や協定校のみなさま、保護者のみなさま、そして体育祭を愛し続けてくださった多くの地元のみなさまに深く感謝申し上げます。

フランス人高校生たちと行う体育祭。最後の体育祭を終えた今、それが決して普通のことではなく、とても貴重で意味のあるものだったのだと感じています。

閉校前の体育祭は、最終学年の20名だけで行わなければなりませんでしたが、本校生が少ないことで、うまくいくのか心配している人もいましたが、僕自身は何の不安も感じていませんでした。交換留学を通じて気心の知れたカミーユ・クロードル校生たちが運営を手伝ってくれましたし、僕たちトゥレーヌ生は、交換留学などさまざまな経験を通じてフランス人たちのことを理解し、彼らと協力し合う術を身につけてきたという自負があったからです。

本番当日、フランス人高校生たちは、体育祭を成功させるため率先してチームや競技を盛り上げてくれるなど、予想以上に協力してくれました。逆に、日本の高校がいくつか集まって体育祭をやろうとしても、ここまでうまくできないのではないのでしょうか。それをフランス人高校生たちと行うのですから、考えてみればとても難しいことであったはずですが、先生たちやいろいろな方々が助けてくれたおかげでもあり、トゥレーヌ校とフランスの地で学んできたことのすべてがこの体育祭の成功につながっているのではないかと感じています。

正直に言うと、入学前は外国人への抵抗すら感じていた自分が、今こうして何のためらいもなくフランス人たちと話し、フランスの街を歩いている、そんなふとした瞬間に、我ながら驚くことがあります。気づかないうちにどんどん変化している自分がいます。卒業まで残り少ないですが、体育祭をきっかけに、自分がここにいる意味をもう一度見つめ直し、この限りある貴重な時間を大切に過ごしていきたいと思います。

優勝できて、これまで感じたことがないほどうれしかったです！私たちの学校にとって最後の体育祭。そして、自分自身にとっても、幼稚園のころから親しんできた運動会・体育祭の最後という気持ちと、日本からフランスの学校に来て経験したさまざまなこと、楽しかったこと、つらかったこと全部がこの瞬間に結びついているんだなという思いが、感動を何倍にもしたのかなと思います。

参加してくれたフランス人高校生は、私たちと一緒に最後の最後まで勝利をめざして一生懸命に取り組んでくれたし、体育祭を純粋に楽しもうとしてくれました。そういったこともあって、体育祭が盛り上がったのではないのでしょうか。同じチームには、その日に初めて会った生徒もたくさんいましたが、見事一致団結しました。たとえば、三人四脚。ルールやコツをフランス人に説明するのに多少苦労はしましたが、フランス流に「un, deux（アン、ドゥ）、un, deux（アン、ドゥ）」とことばをかけ合いながら、転んでもうまく進めなくても、楽しみながら、でも真剣に、前向きに競技に取り組むフランス人たちの姿勢に影響されて、いつしか私も競技に夢中になり、自然に楽しむことができました。少し大げさかも知れませんが、ことばや民族の壁を越えて楽しめるスポーツの意義やすばらしさを実感できたように思います。最後の体育祭で味わったこの感激を、いつまでも忘れないでいたいと思います。

青組（優勝）副団長 服部 晏奈さん

黄組団長 吉田 敬亮さん

〔平成24年度〕

新任教職員紹介

よろしくお願いいたします！

〔4月1日就任〕

文学部
日本語日本文学科



吉村 裕美
教授
〔専門分野〕日本語学

文学部
英語英米文学科



DUFFIELD Nigel G.
教授
〔専門分野〕Linguistics

文学部
人間科学科



富樫 公一
教授
〔専門分野〕精神分析・臨床心理学

文学部



児玉 善仁
特任教授
〔専門分野〕イタリア教育史・大学史

経済学部



平井 健介
講師
〔専門分野〕アジア経済史

経営学部



奥野 明子
教授
〔専門分野〕経営管理論

知能情報学部



才脇 直樹
教授
〔専門分野〕ヒューマンインタフェース・人間情報学

マネジメント創造学部



広渡 深
教授
〔専門分野〕国際通商

マネジメント創造学部



渡邊 敏生
准教授
〔専門分野〕マクロ経済学・金融政策

マネジメント創造学部



真崎 克彦
准教授
〔専門分野〕国際貢献・地域連携

マネジメント創造学部



REISDORF Gordon P.
特別英語プログラムコーディネーター
〔専門分野〕Applied Linguistics

国際言語文化センター



DOWLING Tim G.
特定任期教員
〔専門分野〕International Language and Culture

スポーツ・健康科学
教育研究センター



吉本 忠弘
講師
国際体操連盟公認審判員
〔専門分野〕体操競技・スポーツ運動学

会計大学院



前田 修志
准教授
〔専門分野〕商法・会社法

高等学校・中学校



黒田 公平
教諭
〔担当科目〕国語

高等学校・中学校



坂上 貴彦
教諭
〔担当科目〕数学

高等学校・中学校



枝村 隆平
教諭
〔担当科目〕社会（地理）

総務部 総務課



高山 修平
専任職員
〔資格・特技〕料理

国際交流センター
事務局



長谷川 紗綾香
専任職員
〔資格・特技〕旅行の手配

総務部 総務課



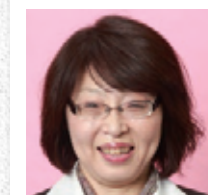
栗原 惇子
嘱託職員
〔資格・特技〕韓国語・料理・お菓子作り

財務部



杉本 美由紀
嘱託職員
〔資格・特技〕珠算・暗算2段

大学企画室



山下 富美
嘱託職員
〔資格・特技〕ハングル検定4級

図書館



清沢 亜紀子
嘱託職員
〔資格・特技〕ウォーキング

情報教育研究センター
事務局



中庭 亜紀
嘱託職員
〔資格・特技〕料理・カメラ

理工学部・
知能情報学部事務局



川西 裕子
嘱託職員
〔資格・特技〕料理・読書

理工学部・
知能情報学部事務局



藤岡 美穂
嘱託職員
〔資格・特技〕漢字検定2級

理工学部・知能情報学部
事務局（機械工作室）



仁禮 義治
嘱託職員
〔資格・特技〕和太鼓

経済・法・経営学部
合同事務局



相楽 絃子
嘱託職員
〔資格・特技〕弓道

スポーツ・健康科学教育
研究センター事務局



大西 瑠実
嘱託職員
〔資格・特技〕器楽・音楽・クラシックバレエ・エア

教職教育センター
事務局



岸田 理沙
嘱託職員
〔資格・特技〕日商簿記検定2級・FP2級

カウンセリングセンター・
人間科学研究所事務局



岡部 幸子
嘱託職員
〔資格・特技〕バーチャルリアリティ・VR

〔6月1日就任〕
先端生命工学研究所



高橋 俊太郎
講師
〔専門分野〕生命化学

〔平成23年度〕

退任教職員紹介

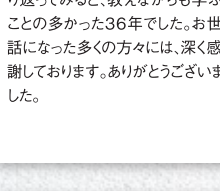
長い間ありがとうございました

小島 修一 教授
〔経済学部〕



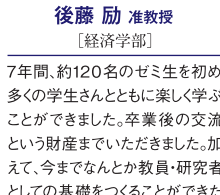
私は、これまでの人生の半分以上を、甲南大学を中心に過ごしてきました。その途上では、優れた恩師や良き先生・先輩・同僚に恵まれました。また、数多くの明るくフレンドリーな学生と会うこともできました。本当に良かったと思っています。振り返ってみると、教えながらも学ぶことの多かった36年でした。お世話になった多くの方々には、深く感謝しております。ありがとうございました。

長門石 暁 助教
〔先端生命工学研究所〕



教員として、3年間を甲南大学で過ごすことができたことに大変感謝しております。大学の教育者とは異なるものを問う学風は、若輩かつ矮小な考えしかもたない私にとって、それは時に重くのしかかり、しかし時に活力となりました。“常二備へヨ”“正しく 強く 朗らかに”。荒野に佇んでしまう私にとっての貴重なバイブルになります。ここでのお世話になりました多くの方々に改めて心より感謝いたします。

後藤 励 准教授
〔経済学部〕



7年間、約120名のゼミ生を初め、多くの学生さんとともに楽しく学ぶことができました。卒業後の交流という財産までいただきました。加えて、今までなんとか教員・研究者としての基礎をつくることができたのは、同僚の教職員の方々のおかげです。本当にありがとうございました。

羽下 大信 教授
〔文学部〕



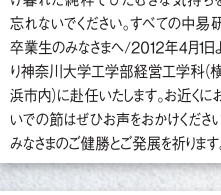
‘99から‘12の間、在籍しました。社会変動も自然の大変動、そしてさまざまな制度や人の意識のあり方が根底から変わる。そんな中ででの大学での生活でした。個人的には大学院での教育・訓練に比重がかかる時代でした。楽しく、また、ときに自らの力不足に青ざめる日々もありました。この間、沢山の方々と交遊の中、陰に陽に手助けを戴きながら、やってこれたあれこれだったのだと、今更ながら感じます。感謝です。ありがとうございました。みなさま、お元気に。

中易 秀敏 教授
〔知能情報学部〕



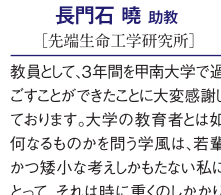
理学部経営理学科卒業生のみなさまへ/ソフトボール大会優勝の思い出をいつまでも。理工学部情報システム工学科卒業生のみなさまへ/夏の研修旅行と打ち上げスキー旅行最高。知能情報学部知能情報学科卒業生のみなさまへ/DSと眼球運動実験に明け暮れた純粋でひたむきな気持ちを忘れないでください。すべての中易研卒業生のみなさまへ/2012年4月1日より神奈川大学工学部経営工学科（横浜市内）に赴任いたします。お近くにおいでの際はぜひお声をかけください。みなさまのご健勝とご発展を祈ります。

吉川 雅子 専任職員
〔高等学校・中学校〕



甲南大学を卒業し、37年間勤めました。職場に恵まれ幸せでした。お世話になった方々に感謝しております。ありがとうございました。

阿萬 弘行 准教授
〔経済学部〕



赴任の当初、生協横の学生会館脇に満開の桜が咲いて、部屋では甲南の学生さんたちが和気あいあいと何か作業をしていた光景をおぼろげに記憶しています。以降、いつも住吉川を渡り、緑を背に、深い赤色の校舎に着いて、そこで授業をして、研究をして、業務をして、すべて多くの方々に感謝すべき良い思い出です。

北岡 守 教授
〔スポーツ健康科学教育研究センター〕



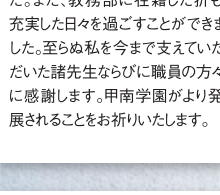
体育の授業において学生諸君は私を大きく育ててくれました。また、教職員の方々とのボーリング大会、テニス大会、バスケットボール大会、野球の試合、そしてスキー、思い出は尽きません。甲南大学での46年間は、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

西村 温知 教諭
〔高等学校・中学校〕



創立40周年の年に中学校入学以来、他私学にいた4年間を除き約半世紀甲南にお世話になりました。39年間の甲南での教員生活は、よい生徒たちに恵まれ、クラブ活動はバドミントン部や数学研究部、放送部に携わることができました。また、教務部に在籍した折も、充実した日々を過ごすことができました。至らぬ私を今まで支えていただいた諸先生ならびに職員の方々に感謝します。甲南学園がより発展されることをお祈りいたします。

三宅 純平 講師
理工学部機能分子化学科



このほか、家田崇教授（会計大学院）も退職いたしました。

公開講座

ビジネス・イノベーション研究所、経営学部、経営学会(共催)

経営学のススメ～こんなところでも活用できる経営学～

「経営学」って会社経営のためだけじゃない。
私たちの生活の中で、こんなに「使える」知識なんです。

日時 2012年12月1日(土)・8日(土)・15日(土)
14:00～14:50、15:00～15:50

場所 岡本キャンパス 1号館4階142教室

2012年12月1日

第1回 馬場 大治 教授「株式会社〇×はなぜこんなにすごい？」
第2回 中田 善啓 教授「同じブランドなのに価格が違うのはなぜ？」

2012年12月8日

第3回 尾形 真実哉 准教授「なぜフィに人はついていくのか？」
第4回 古田 美保 教授「会計の役割は大切！～帳簿の使い方」

2012年12月15日

第5回 三上 和彦 教授「価格競争はなぜ起きる？～ゲーム理論で考えるリスク戦略」
第6回 長坂 悦敬 教授「半額ハンバーガーがなぜ儲かる？」

参加申込みなどにつきましては、
ビジネス・イノベーション研究所ホームページをご覧ください。
HP:<http://bi.bus.konan-u.ac.jp> ※「甲南BI」で検索できます。
受講料:無料 ※ただし、資料代(全6回分)500円を頂戴します。
お問い合わせ:ビジネス・イノベーション研究所 Tel 078-435-2754

INFORMATION

教育基本方針を公表しております。



甲南大学では、大学および大学院における「教育基本方針」をホームページなどで公表しております。各学部、研究科がどのような人材を養成し、そのためにどのように教育を行っているのかをご覧ください。そのほか、「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」についても記載しております。

http://www.konan-u.ac.jp/info/houshin_000.html

「甲南大学教育基本方針」で検索しても閲覧いただけます。

甲南大学の教員と卒業生が執筆した

新刊レビュー



20歳になったら知っておきたい会計のはなし

古田清和[会計大学院教授]編集代表
ビジネスアカウンティング研究会 編
TAC出版 ¥1,200(税別)



海辺の街から 小谷博泰歌集

小谷博泰
[名誉教授、1966年経済卒・人文科学研究科修士修了]著
短歌新聞社 ¥2,381(税別)



国際歳時記における比較研究 浮遊する四季のことば

竹田賢治[1970年文学部卒]ほか編
笠間書院 ¥6,500円(税別)



戦争の子どもを 考える 一体験の記録と理解の試み

森茂起[文学部教授]・
港道隆[文学部教授]編
平凡社 ¥2,800(税別)



オーストラリアの取説 30のキーワードで読み解く

川野 実[1979年経営学部卒]著
リント ¥1,400(税別)



子別れのための 子育て

高石恭子[文学部教授]編
平凡社 ¥2,800(税別)



学生相談と発達障害

高石恭子[文学部教授]ほか編著
学苑社 ¥2,000(税別)



日本のお医者さん研究

森剛志[経済学部准教授]ほか著
東洋経済新報社 ¥1,600(税別)



R.G.ホートレーの経済学

古川 嗣[経済学部教授]著
ナカニシヤ出版 ¥4,800(税別)



経済学の地下水脈

藤本建夫
[経済学部教授]ほか編著
晃洋書房 ¥2,700(税別)

PRESENT 抽選で50名様に!

甲南オリジナルクリアファイル

毎回「甲南Today」の表紙を飾ってくださる西井義晃画伯の絵をモチーフにした素敵なクリアファイルです。

応募締切:2013年1月15日到着分まで



体育会

戦績報告

(敬称略)

みなさんのファイトに心より拍手をお送りします。

【弓道】

全日本学生弓道選手権大会(8月)

女子団体準優勝 明石青恵法4・濱中彩花経営1・堀川早紀文3

明石青恵法4・・・個人第8位

住吉大社全国弓道大会(5月)

男子団体第2位 大塚信博(文4)・中村厳貴文4・帆先浩(知能情報2)

春木かなえ文2・・・女子個人第5位

小原美紅(文4)・・・女子個人第6位

関西学生弓道選手権大会(5月)

小原美紅(文4)・・・女子個人第2位

【クルーシング】

全日本学生外洋ヨット選手権大会(3月)第3位

【剣道】

第36回関西女子学生剣道優勝大会(9月)女子団体ベスト4 ※34年ぶり

【硬式庭球】

関西学生テニスリーグ(9・10月)

男子1部リーグ優勝 ※32年ぶり

上原伊織(法2)・沼野孝彰(経済3)・瀬古悠貴(法2)・下向将志(経済3)・榎本達也(経済4)・貝野友規(経営3)・早瀬勇次(文3)

関西学生春季テニストーナメント(6月)

上原伊織(法2)・沼野孝彰(経済3)組・男子ダブルスベスト4

平成24年度関西学生テニス選手権大会(8・9月)

沼野孝彰(経済3)・・・男子シングルス第2位
上原伊織(法2)・・・男子シングルスベスト4
伊丹果(法4)・北山由佳(経営3)組・女子ダブルス第2位

【ゴルフ】

第14回世界大学ゴルフ選手権(7月)

森祐紀(文2)・・・日本代表に選出 チェコのリベレンツで開催

TOPYCUP日米大学対抗ゴルフ選手権(9月)

森祐紀(文2)・出光祐大(法2)が出場

関西学生男子春季1部校学校対抗戦(6月)

第3位 末隆道久(法4)・頼重侑太(経営3)・出光祐大(法2)・森祐紀(文2)・望月森(経済1)・小林裕太郎(経済3)・西海雄一(経営4)

関西学生男子春季新人戦(6月)

松田直也(経済1)・・・第2位

【自動車】

全日本学生ダートトライアル選手権大会(8月)

男子団体第3位 岡翔太(経営2)・平木亮理(工4)・猪目祐介(理工4)

第1回全関西学生ジムカーナ選手権大会(3月)

岡翔太(経営2)・・・個人第3位

第1回全関西学生ダートトライアル選手権(4月)

男子団体優勝 岡翔太(経営2)・・・個人優勝

全関西学生自動車運転競技選手権大会(5月)

男子団体優勝 暮部雄一(文3)・主将・小利兼用(部優勝)

木村建登(経営2)・・・小型貨物の部第3位

【柔道】

平成24年度全日本ジュニア体重別選手権大会(9月)

楠本岳志(経済1)・・・55kg級第3位

近畿ジュニア柔道体重別選手権大会(7月)

楠本岳志(経済1)・・・55kg級第2位

【少林寺拳法】

関西学生大会(7月)

楠本祥太(知能情報4)・・・単独演武有段の部優秀賞(2位)・運用法男子重量級の部優良賞(3位)

【準硬式野球】

全日本大学準硬式野球選手権大会(8月)

準優勝 鈴木彰博(経営3)・山川雄大(経済2)・勝田祥平(経営4)・土居侑輝(経営3)・小林弘昌(経営2)・三原輝史(経済2)・石原輝樹(法2)・森本知樹(法4)・川本猛仁(文3)・佐藤弘一(文4)・大野健登(経済3)・下根佑弥(経済2)

※初の決勝進出

近畿六大学準硬式野球連盟春季リーグ(3・4月)

8戦全勝優勝

第64回関西地区選手権大会(5月)

【馬術】

第55回関西学生総合馬術大会(6・7月)

吉井崇師(経済2)・エストエスト号・・・総合馬術個人総合の部優勝

第55回関西学生総合馬術大会(6・7月)

吉井崇師(経済2)・エストエスト号・・・総合馬術個人総合の部優勝

【バスケットボール】

第62回西日本学生バスケットボール選手権大会(6月)

河内陽(経済4)・主将・村上雅亮(経済4)・田中和馬(法3)・山本佑(経済3)・沖本勝男(法3)

関西学生バドミントン春季リーグ(4・5月)

男子1部昇格 ※26年ぶり

第40回西日本学生ホッケー選手権大会(9月)

第7位

【ヨット】

2012年国際420級世界選手権大会(7・8月)

尾崎玄弥(法1)・・・日本ナショナルチーム代表として選出

2012年度全日本女子ヨット選手権大会(9月)

団体総合第4位 善本万理子(経営4)・梅田西(経済4)組・スナイプ級個人総合第2位

神木蘭(文3)・上田沙(法4)組・・・470級個人総合第8位

関西学生夏季選手権(6月)

470級団体第3位 神木蘭(文3)・尾崎玄弥(法1)組・吉泉葵(経営2)・上田誠也(経済3)組・上田沙(法4)・中島大輔(経営4)組・平野湧也(経営3)・田中祐介(経営2)組

関西学生女子ヨット選手権(6月)

善本万理子(経営4)・梅田西(経済4)組・スナイプ級第2位

関西学生ヨット選手権大会(9月)

善本万理子(経営4)・田中智也(経営4)組・スナイプ級優勝

第7回春季全関西デジタルスポーツビートル射撃選手権大会(5月)

女子団体優勝

【ライフル射撃】

第59回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会・第18回秋季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会 第9回秋季全関西学生デジタルスポーツビートル射撃選手権(9月)

DPS40M団体第3位 山本将義(法3)・黒瀬集人(知能情報3)・西田寛(法2)

肥田友紀子(知能情報3)・DPS40W個人第2位

第80回近畿陸上競技選手権大会(9月)

北本加奈(経営4)・・・女子400mH第3位

木村友彦(経済2)・男子3000m障害第3位

第16回西日本学生柔法選手権大会(4月)

男子団体第2位 1部昇格

杉本秀明(主将・法4)・鈴木悠太(法4)・味谷俊由(法4)・高畑俊裕(法4)・豊浦翔(法4)・今津有規(経済3)・橋本凌(理工3)

【陸上競技】

2012日本学生陸上競技個人選手権大会(6月)

三宅奈緒香(文4)・・・女子100m第5位

第60回兵庫リレーカーニバル(4月)

女子4×100mリレー第2位 飯田郁未(経営1)・加藤亜友美(文4)・五十嵐理沙(経営2)・三宅奈緒香(文4)

男子4×100mリレー第4位 渡邊功記(法4)・前尾元(経営4)・上園正季(文2)・金光稜太(法3)

山本有希子(文2)・・・女子走高跳第2位

山田麻友佳(文1)・・・女子走高跳第8位

第65回西日本学生陸上競技対校選手権大会(7月)

女子4×100mリレー第2位 三宅奈緒香(文4)・加藤亜友美(文4)・寺井美穂(経営1)・五十嵐理沙(経営2)

加藤亜友美(文4)・・・女子200m第2位

三宅奈緒香(文4)・・・女子100m第3位

4×400mリレー第4位 畑中友希(文3)・斎藤裕花(文2)・加藤亜友美(文4)・出口真美(知能情報1)

木村友彦(経済2)・男子3000m障害第5位

畑中友希(文3)・・・女子400mH第7位

【日本拳法】

第89回関西学生陸上競技対校選手権大会(5月)

女子4×100mリレー優勝 五十嵐理沙(経営2)・加藤亜友美(文4)・寺井美穂(経営1)・三宅奈緒香(文4)

女子4×400mリレー第2位 野瀬麻衣(経営3)・斎藤裕花(文2)・加藤亜友美(文4)・出口真美(知能情報1)

第80回近畿陸上競技選手権大会(9月)

北本加奈(経営4)・・・女子400mH第3位

木村友彦(経済2)・男子3000m障害第3位

甲南Today 2012 Nov NO. 42

発行日/2012年11月20日
発行/甲南学園広報部〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL (078)431-4341(代)